

【講座・事業の狙い】

【街で子育て】を共通目標とし、民間、行政、企業が協働して鎌ケ谷市の子育てを応援する。



【講座・事業の様子】

2024年の出展者は50ブース、ステージが午前・午後の2ステージの企画があり、来場者数は、延べ3887名となった。

ブースは1～3階に分かれており、ハンドメイド品の販売やワークショップ、リラクゼーションや写真撮影などの様々な内容のブースが出展されていてどこもすごく賑わっていた。民間ブースだけでなく、行政の移動児童館やハイハイレースなども人気であった。大人だけでなく、子どもも出展者として一緒に楽しんだり、ニコキッズ商店街などの子どもが主役となり、活躍する様子も印象的であった。他にも実行委員企画の体験ラリーは毎年人気であり、今年はクイズ、重ね押しスタンプなども体験できた。参加したお客様は「来年も楽しみにしています」などの継続を望む声が多かった。

ステージでは、午前中はNHKEテレの【ノージーのひらめき工房ショー】、午後は市民団体が出演する【オトノマチ】を行った。オープニングでは市長の動画出演があり、ゲストショーでは、ノージーの登場に会場が大いに盛り上がった。オトノマチでは「みんなで音で繋がろう！色々な種類の音を、観て、聴いて、感じて、楽しもう」というコンセプトであり、ジャンルの違う5つの団体が登場し、オトノマチならではの「コラボ企画」も大好評だった。

また、今年はボランティアスタッフも多く参加し、「地域でこのような活動がされていることを知れてよかった。来年もぜひ参加したい。」「子育てを街全体で応援していることが実感できた」などの声が寄せられた。

今年度もケガ事故なく、市民、企業、行政のそれぞれの得意を活かし、協働で開催するニコカマフェスが実施できた。

参考：<https://nicokamafes.weebly.com/125021252512464>

【成果と課題】

2014年から継続して行ってきたこともあり、多くの方に共通目標の【街で子育て】が浸透してきた。イベント当日は、実行委員だけでなく、ボランティアスタッフ、出展者、企業、行政各課に加え、お客様まで子どもたちをみんなで見守り、子育てをみんなで協力することができた。企画の段階から、ママや学生などが実行委員となり、行政や企業など、多様な主体との協働を行い、イベントを作り上げている。

今年で世代交代となるため、次世代への引継ぎが今後の課題となる。小さな子どもを育てながら、楽しみながら企画と運営を行うため、事務局や行政などが一丸となり、サポートし、協働して【街で子育て】を実施していきたい。また、人数が増えることによるケガや事故がないよう、今後も引き続き安全対策を考えていきたい。